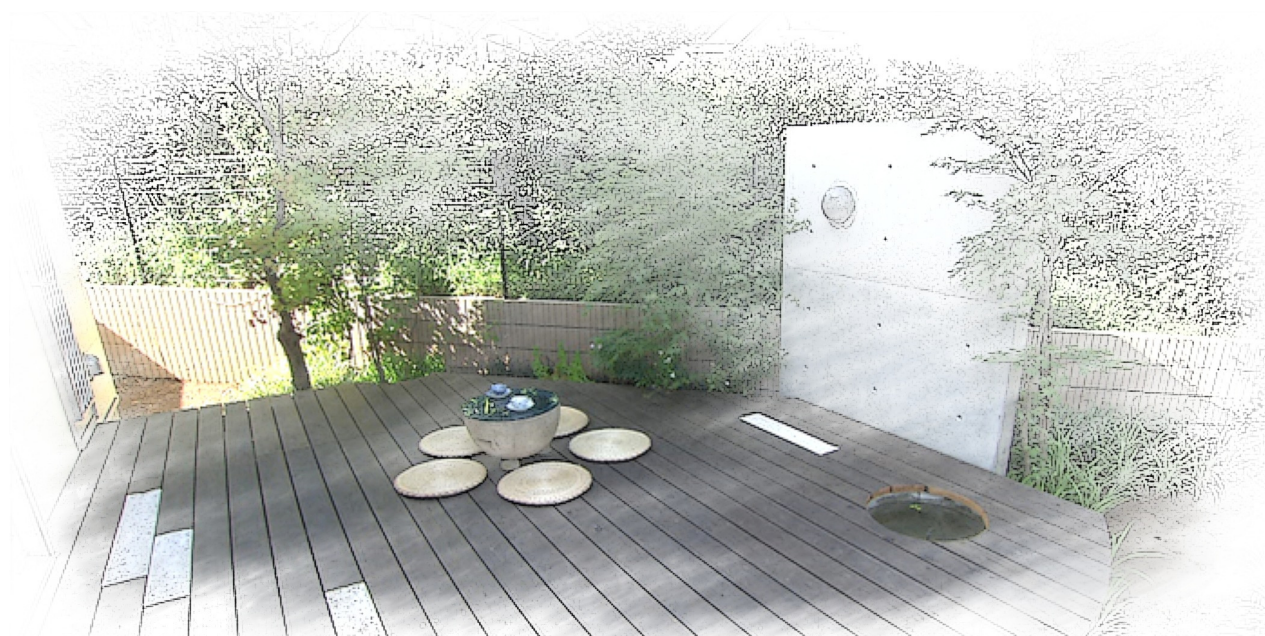


# タカショー デッキ積算システム

## ～操作マニュアル～



## 1. はじめに

この“タカショー デッキ積算システム”は、RIKCAD21Ver.3～Ver.5、expot（以下、ベースソフト）で動作するシステムです。

※本システムは設計作図をおこないながら同時にデッキの積算・拾い出しが可能なシステムです。  
是非、お客様の作図をおこないながらご使用ください。



## 2. インストール

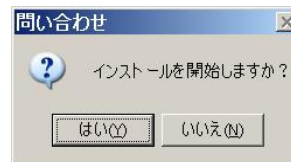
インストールフォルダ内にある、Setup.exe  をダブルクリックします。

右図の“ユーザー情報”入力欄が表示されるので、ユーザー名・会社名及び、シリアル番号を入力し、**次へ** ボタンで進みます。

※シリアル番号に関しては、タカショーHP を開き、“CAD データバンク”ページからお申し込みすると取得することができます



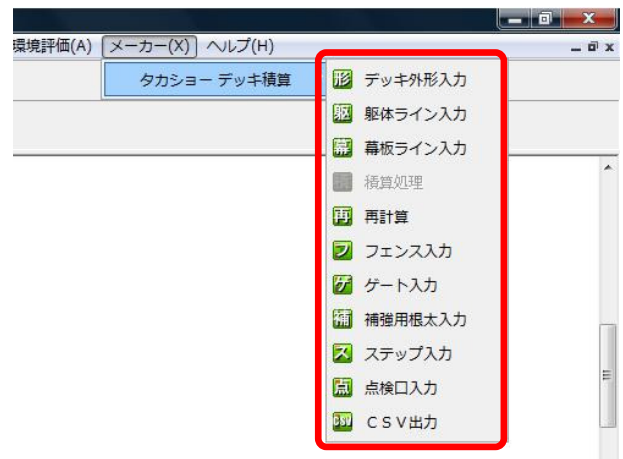
インストールを開始しますか？ **はい** をクリックすると、インストールが始まり自動的にベースソフトに組込まれます。



※インストール先の指定等は必要ありません。

## 3. 画面周り

インストールすると、ベースソフト起動時メニューバーに「メーカー(X)」という項目が追加されます。ここにある「タカショー デッキ積算」内に全てのツールを選択することができます。

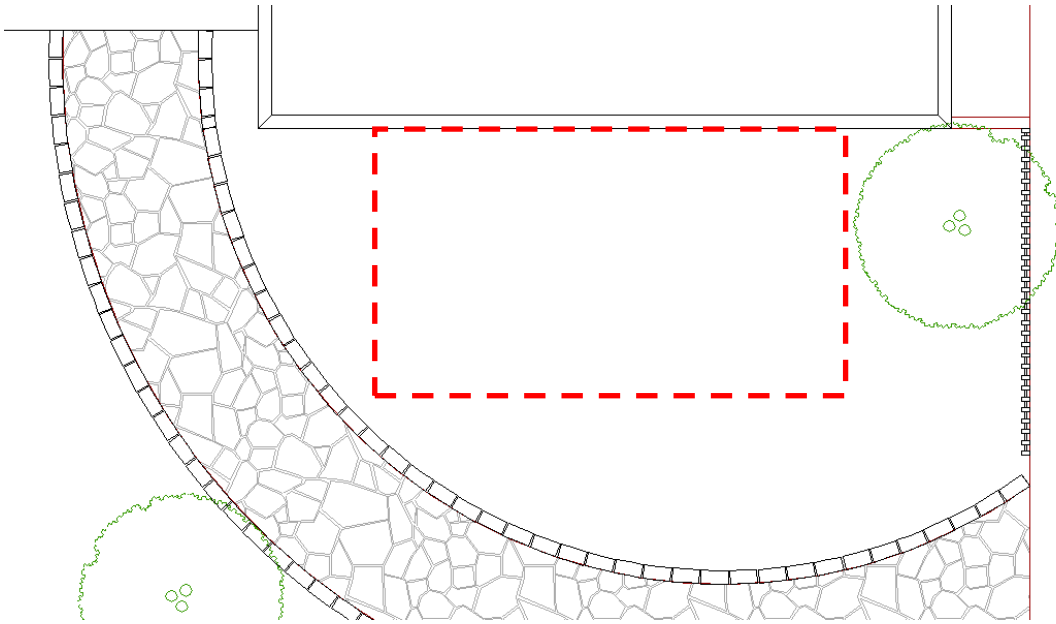


## 4. 作図手順

### 4-1. デッキ外形入力



【デッキ外形入力】ツールを使用して、ウッドデッキの外形を入力します。



※入力時に寸法を直接入力する場合は、メニューバー／オプション／座標情報を表示／隠す を実行します。

※入力時の Shift キーを使用すると、水平・垂直線を正確に入力することができます。

※上図のように、作図中の物件にも作図・積算することができます。

#### ▼開口入力方法▼



入力したウッドデッキに“開口”が必要な場合は、ツールボックスより[塗りつぶし]ツールを選択して、ウッドデッキ外形内に開口を作図します。

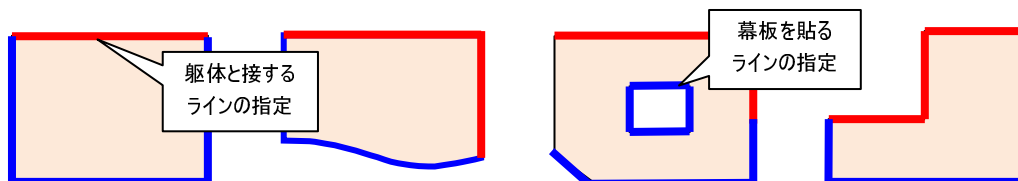
この時、開口形状は『長方形』のみとなります。

### 4-2. 幕板ライン入力、躯体ライン入力



作図したデッキの外形形状に対して、【躯体ライン入力】ツール及び【幕板ライン入力】ツールを使用して、躯体・幕板の位置を指定します。

例)



※幕板ライン・躯体ラインの入力時は、デッキ外形入力と同様に、作図中にペットパレットで R 入力に切り替えることが可能です。

#### 4-3. デッキ本体の積算処理



【積算処理】 ツールを実行すると“タカショーウッドデッキ設定” 下図ダイアログが表示されます。

- ・デッキ種類：「エバーエコウッド」、「タンモクウッド」 を選択します。
- ・デッキ面レベル：ウッドデッキ床板面レベルを入力します。
- ・デッキ配置レベル：ウッドデッキ配置 GL レベルを入力します。
- ・デッキカラー：ウッドデッキのカラー（3種類×2タイプ）を選択します。

※エバーエコウッド：ナチュラル/ダークブラウン/ホワイト

※タンモクウッド：無塗装/ライトオーク/アジアンブラウン

- ・寸法表記：平面図に寸法線を表示する、しないを選択します。

#### 【床板設定】

- ・床板貼り方向：「縦方向 / 横方向」 を選択します。
- ・床板継目方法：床板を繋ぐ場合の工法を選択します。
- ・床板の隙間：デッキの床板と床板の隙間です。

※エバーエコウッド：5mm(変更不可)、タンモクウッド：任意(初期値 5mm)

- ・端部床板固定：デッキ端部の床板に側面幕板が取りつかない場合に、床板を大引き（根太）に固定する工法「ビス / V アンカー」 を選択します。

※デッキ種類「タンモクウッド」の場合は、「ビス」しか選択できません。

## 【大引き/束柱設定】

- ・大引きタイプ：「アルミ / スチール / タンモクウッド」を選択します。  
 ※「タンモクウッド」が選択できるのは、デッキ種類で“タンモクウッド”を選択した時のみです。
- ・束柱タイプ：束柱の種類を選択できます。  
 ※選択できる束柱は、“デッキ種類”・“大引きタイプ”・“必要な束柱サイズ(デッキ面レベル・デッキ配置レベルより自動計算)”により、限定されます。
- ・束柱サイズ：束柱の高さを（デッキ面レベル・デッキ配置レベルより自動計算）表記します。
- ・束柱配置：束柱の配置方法を、「均等 / 任意」より選択します。
- ・束柱ピッチ：束柱のピッチを入力します。  
 ※「束柱配置:均等」の場合は入力不可です。

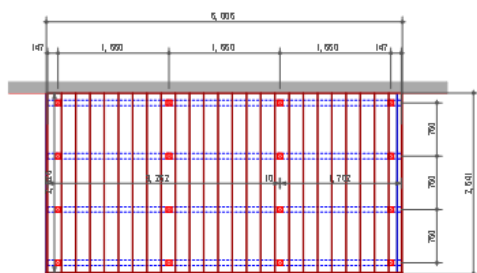
## 【デッキベース】

- ・束柱ベース部：「束石 / スラブ / なし」から、デッキ束柱のベース（土台）を選択します。

[OK] ボタンをクリックすると、設定内容で、ウッドデッキの平面図（3D 要素を含む）・寸法線・拾い出し表がウッドデッキの右側に自動配置されます。

※1つの用紙上で、複数デッキの積算を行うことができますが、オプションの入力は直前に作成したウッドデッキが配置する際の対象ウッドデッキとなります。

※束柱ベース部で“スラブ”を選択すると、デッキ外形と同サイズの床面（材料：基礎、厚み：10mm）が作成されます。



材料・品名・規格	単価	個数	金額
EED-Y9 IN°-エコット®床板9尺(金具付)	14,900	25	372,500
EED-MF10 IN°-エコット®正面幕板1間(金具付)	7,200	1	7,200
EED-MF20 IN°-エコット®正面幕板2間(金具付)	13,500	1	13,500
EED-MS9 IN°-エコット®側面幕板9尺(金具付)	10,000	2	20,000
EED-KB トリビ°ス5X70(プラス)	100	1	100
EAA-AOB10 大引1100mm 1間(アルミ)	3,300	4	13,200
EAA-AOB15 大引1100mm 2間(アルミ)	6,600	4	26,400
EAA-ATH 束柱アルミ(取付金具付)	1,600	16	25,600
合計			¥478,500

#### 4-4. オプション入力

オプション入力ツールとして【フェンス】、【ゲート】、【補強用根太】、【ステップ】、【点検口】 ツールがあり、それぞれの入力方法は下記の通りです。

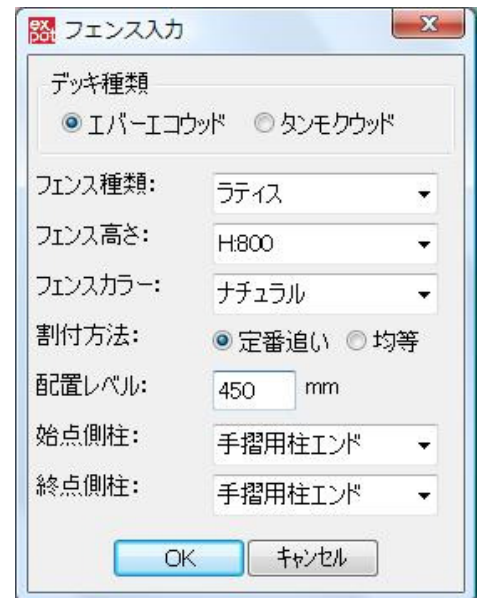
##### 4-4-1. フェンス入力



【フェンス】 ツールを実行すると、右図のダイアログが表示され、“デッキ種類”、“フェンス種類”、“フェンス高さ”、“割付方法”、“配置レベル”、“始点側柱”、“終点側柱”を設定し、[OK] ボタンをクリックし、デッキ上にポイント指定します。

ダブルクリックでポイント指定終了後に、指定したポイント間がピッチ分割されて、フェンスが自動配置されます。

※この際に、柱間の寸法線も自動作成されます。



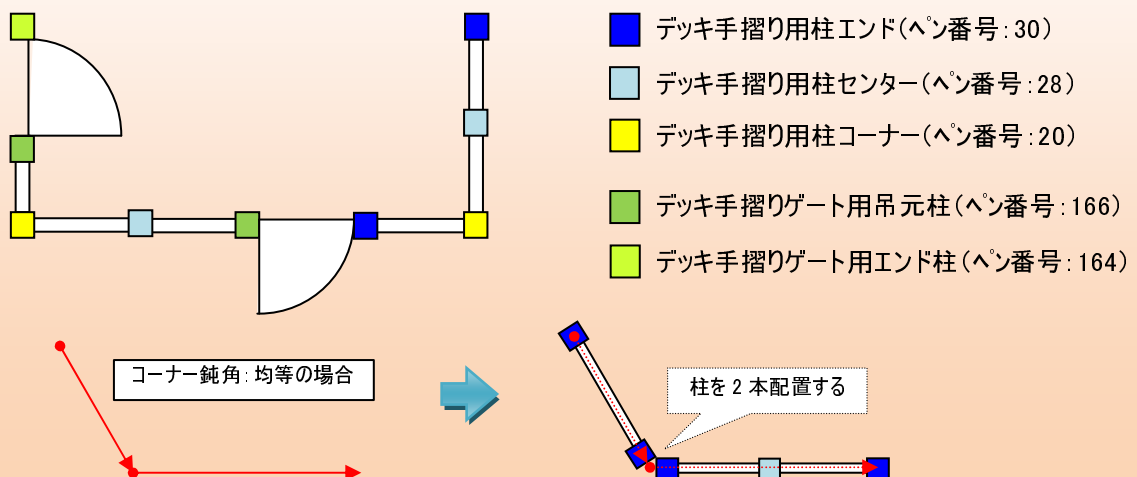
- ・デッキ種類初期値は、直前に積算したデッキ種類です。
- ・フェンスカラー初期値は、直前に積算したデッキカラーで、変更は可能です。
- ・フェンス種類は、エバーエコウッド：6種類、タンモクウッド：2種類で、前回値が反映されます。
- ・フェンス高さは、エバーエコウッド：2種類、タンモクウッド：1種類で、前回値が反映されます。
- ・割付方法は、2種類で前回値が反映されます。
- ・配置レベル初期値は、直前に積算したデッキ面レベルで、変更可能です。
- ・始点側柱は、3種類（手摺用柱エンド / ゲート用吊元柱 / なし）より選択します。
- ・終点側柱も同様の3種類を選択できます。

##### 【柱について】

・柱は5種類(×高さ2種類)あり、場所により自動振り分けを行います。  
(デッキ手摺り用柱エンド／デッキ手摺り用柱センター／デッキ手摺り用柱コーナー／デッキ手摺りゲート用吊元柱／デッキ手摺りゲート用エンド柱)

・作図ラインのコーナー部分が90°の場合には、コーナー柱を使用します。

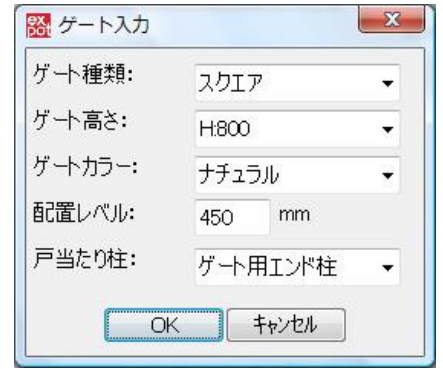
・作図ラインのコーナー部分が90°以外の場合(鈍角)には、柱を2本配置します。



#### 4-4-1. ゲート入力



【ゲート】ツールを実行すると、右図のダイアログが表示され、“ゲート種類”、“ゲート高さ”、“ゲートカラー”、“配置レベル”、“戸当たり柱”を設定し、[OK] ボタンをクリックすると、デッキ上にポイント指定できます。

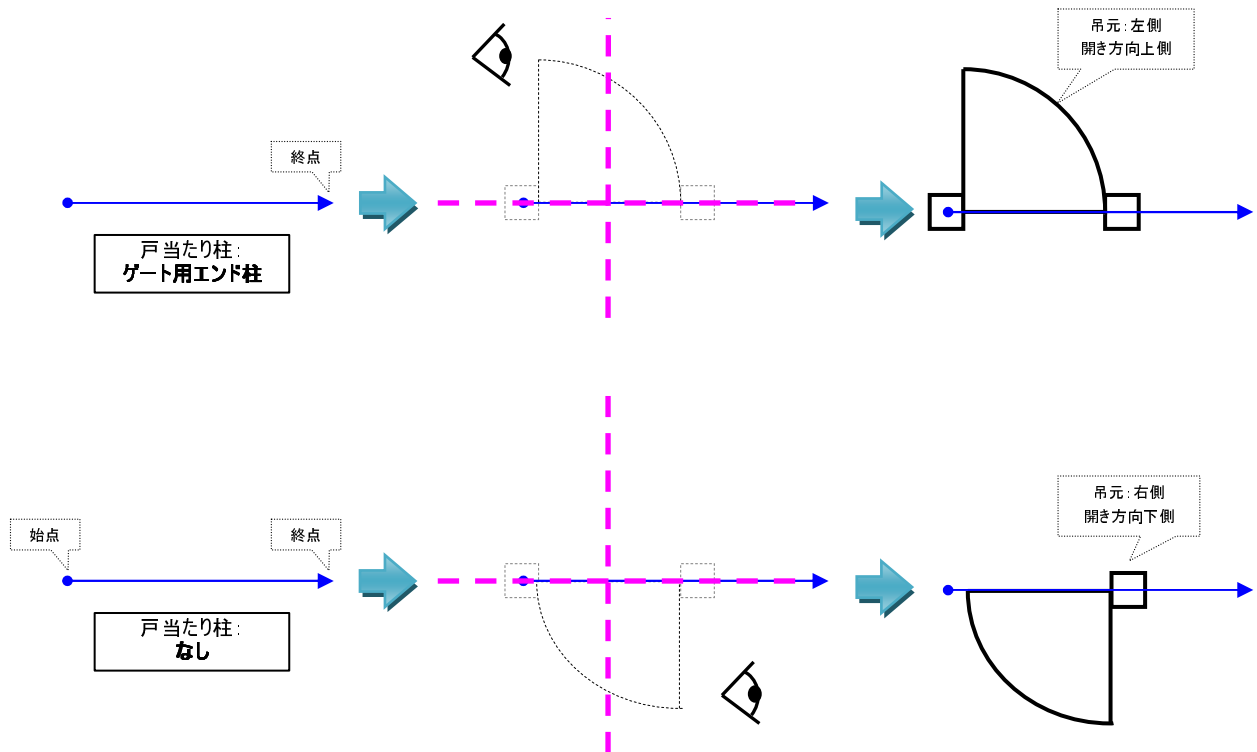


ポイント指定する際に、2点クリックで配置点・配置角度が決定されます。

その後、マウス形状が 目玉に変更されるので、吊元側・開き方向を指定します。

※ゲートの端数処理はできません。

※ゲートは、エバーエコウッドのみなので「デッキ種類」の選択項目はありません。



#### 4-4-2. 補強用根太入力



【補強用根太】ツールを実行し、デッキ上に2点ポイント指定した箇所に、補強として根太（及び束柱）が自動配置されます。また、束柱が配置された場合は、束柱間の寸法線が表記されます。

※“根太の種類”、“根太のレベル”、“束柱種類”、“束石の有無”は、直前のデッキ本体設定時と同設定です。

※補強用根太の入力は、デッキ本体の積算処理が実行されていないと、実行できません。

#### 4-4-3. ステップ入力



【ステップ】ツールを実行すると、右図のダイアログが表示され、各値を設定し [OK] ボタンをクリックします。

マウスカーソル先にステップ（オブジェクト）外形枠が表示されるので任意の場所をクリックし、ステップを配置できます。



※“エバーエコウッド”・“タンモクウッド”各ステップ種類は、「1段」・「2段」です。

※デッキ種類初期値は、直前に積算したデッキ種類です。

#### 4-4-4. 点検口入力



【点検口】ツールを実行すると、右図のダイアログが表示され、

設定後 [OK] ボタンをクリックすると、マウスカーソル先に点検口（オブジェクト）外形枠が表示されます。

デッキ上の任意の場所をクリックし、点検口を配置します。

配置後に、確認メッセージとして『補強用根太ツールで、点検口の補強を行ってください。』が表示されます。



※2D 表示(平面図表示)のみになり、3D 表示はされません。

※デッキ本体の積算処理が実行されていないと、実行できません。

#### 4-5. 再計算



・【積算処理】を実行後に、オプション入力やマウス調整・配置済部品の削除を行った場合、拾い出し表に、その追加編集内容は反映されていません。

この場合、【再計算】ツールを実行することで、平面図上の要素を再度拾い直し、拾い出し表の内容を更新します。

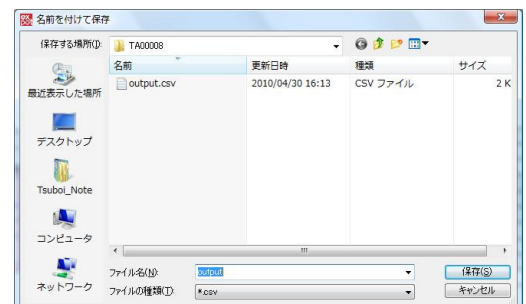
・【再計算】ツール実行時に、平面図上に拾い出し表が存在しない場合は、再度平面図右側に拾い出し表を配置します。

#### 4-6. CSV 出力



・【CSV 出力コマンド】を実行すると、ファイル保存ダイアログが表示されます。

・CSV 出力する際は、平面図上に配置している「拾い出し表の内容」に加え、この品番に紐付く「商品コード番号」・「上代」、物件管理システムで入力された「物件情報」や、最終積算時の「デッキ積算設定値」も併せて出力します。



## 5. システム更新

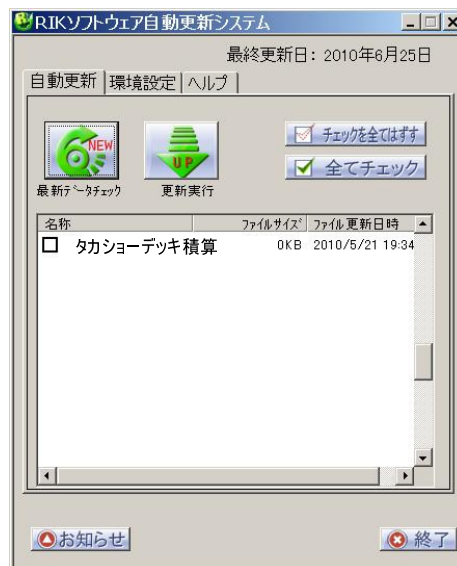
タカショー デッキ積算システムの、機能 UP や品番等の商品情報変更、不具合修正といった更新は、下記2通りの方法で行う事ができます。 **2通りのうち、どちらかを実行して最新のシステムに更新をしてください。**

### 【更新方法 ~1~ RIKCAD 保守ユーザー】

「RIK ソフトウェア自動更新システム」を使用して、更新します。

※「RIK ソフトウェア自動更新システム」は、リック保守サポートに加入しているユーザー様専用システムです。

“RIK ソフトウェア自動更新システム”は、RIK Support Station ([http://www.rikcorp.co.jp/support\\_station/](http://www.rikcorp.co.jp/support_station/)) よりログインして、ダウンロード・インストールしてください。



### 【更新方法 ~2~ RIKCAD 未保守ユーザー】

「タカショーデッキ積算システム自動更新ツール」を使用して、更新することができます。

※「タカショーデッキ積算システム自動更新ツール」は、リック保守サポートに加入していないユーザー様専用のツールです。

“タカショーデッキ積算システム自動更新ツール”は、タカショーHP より、ダウンロード・インストールしてください。



## 6. 困ったときは・・・

6-1. 積算処理すると「床板が 45°以上で切断されています。デッキ外形図を修正してください」というエラーメッセージが表示される

【対処法】デッキ床板を 45° 以上でカットできないので、デッキ外形入力からやり直してください。

垂直線・水平線を作図する場合は、キーボードの **Shift** キーを押しながら作図してください。

6-2. 積算処理すると「不正な形状です」というエラーメッセージが表示される

【対処法】メモリ不足になっている可能性があります。下書き線を作図した状態で一度 PLN 保存し、一度 RIKCAD (expot) を終了します。再度 RIKCAD を起動して積算処理してみてください。

改善できない場合は、再度 RIKCAD を終了して、[スタート]ボタンより RIKCAD21 フォルダを開き[キャッシュ削除-LIB]を実行してください。

6-3. 積算処理すると、床板もしくは拾い出し表が表示されない

【対処法】メモリ不足になっている可能性があります。前項 6-2 の対処法を実行してください。

その他不明な点がありましたら、株式会社リック ヘルプデスク(TEL:050-3537-2835)へお問合せ下さい。

※ヘルプデスクをお問合せの際は、“保守 ID の確認”を行いますので予め御準備ください。